

令和4年度 「専門基礎分野」

科目名	人体のしくみとはたらき I		対象年次・時期	1年次・前期	
単位・時間	2単位 45時間				
担当講師名	非常勤講師				
科目目標	人体がどのような構造と機能によって日常生活を営んでいるかを理解できる。				
講義内容 講義担当者	次	主題	内 容	担当者	学習方法
	1	1. 人体とその構造 1) 人体とは 2) 人体の素材としての細胞・組織・器官 3) 構造と機能からみた人体		非常勤講師	講義
	22	2. からだの支持と運動 1) 骨格とはどのようなものか 2) 骨の連結 3) 体幹の骨格と筋 4) 上肢の骨格と筋 5) 下肢の骨格と筋 6) 頭頸部の骨格と筋 7) 筋の収縮			
23	3. 呼吸と血液の循環 1) 呼吸器系の構造と仕組み 2) 心臓の構造と機能 3) 血管の形態と機能 4) 血液の循環とその調節 5) 血液の成分と機能 6) リンパ系の形態と機能 4. 生殖・発生と老化 1) 男性生殖器 2) 女性生殖器 3) 受精と胎児の発生 4) 成長と老化				
テキスト・参考文献等	系統看護 「解剖生理学」 (医学書院)				
使用教材	パソコン・プロジェクター				
履修上のアドバイス					
評価基準	評価方法		評価割合		
	筆記試験		10		

令和4年度 「専門基礎分野」

科目名	人体のしくみとはたらき II		対象年次・時期	1年次・前期	
単位・時間	2単位 45時間				
担当講師名	非常勤講師				
科目目標	人体がどのように細胞の活動を保ち、内部環境を一定の範囲に保っているかを理解できる。				
講義内容 講義担当者	次	主題	内 容	担当者	学習方法
	1 5 22 23	1. 内部環境の恒常性（ホメオスタシス） 1) 体液、体液の電解質、体液の酸塩基平衡 2) 生体リズム（睡眠と覚醒、サーカディアンリズム） 2. 栄養の消化と吸収 1) 口・咽頭・食道の構造と機能咀嚼 2) 腹部消化器の構造と機能 3) 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能 4) 栄養と代謝 3. 調整機能 1) 自律神経による調整 2) 内分泌系による調整 3) 全身の内分泌腺と内分泌細胞 4) ホルモン分泌の調整 5) 体液とホメオスタシス 6) 皮膚の構造と機能 7) 生体の防御機構 8) 体温とその調整 9) 排泄の機構 4. 情報の受容と処理 1) 神経系の構造と機能 2) 脊髄と脳 3) 脊髄神経と脳神経 4) 脳の高次機能 5) 運動機能と下行伝導路 6) 感覚機能と上行伝導路 7) 眼の構造と聴覚 8) 耳の構造と聴覚・聴力・平衡覚 9) 味覚と嗅覚 10) 痛覚 5. 遺伝の仕組み 1) 遺伝 2) 免疫 終講試験	非常勤講師	講義	
テキスト・参考文献等	系統看護 解剖生理学（医学書院）、病態生理学（医学書院）				
使用教材					
履修上のアドバイス					
成績評価	評価方法		評価割合		
	筆記試験		10		
	中間試験及び終講試験を行う				

令和4年度 「専門基礎分野」

科目名	看護に活かす人体のしくみとはたらき		対象年次・時期	1年次	
単位・時間	1単位・30時間				
担当講師名	教員				
科目目標	人体の構造と機能を理解し、看護に活かす意味を理解できる。				
講義内容 講義担当者	次	主題	内容	担当者	学習方法
	1～15	<ol style="list-style-type: none"> 1. 動く 2. 食べる 3. 息をする 4. トイレに行く 5. 話す・聞く 6. 眠る 7. お風呂に入る 8. 子どもを産む 		教員	講義 GW
		終講試験			
テキスト 参考文献等	看護につながる形態機能学（メヂカルフレンド社） 系統看護 「解剖生理学」（医学書院）				
使用教材	パソコン、プロジェクター				
履修上の アドバイス	この科目は、「人体のしくみとはたらきⅡ」を基に「生活を支える援助」につながる科目です。人間が生活を営むなかで、身体がどのように機能しているかを理解し、看護に活かしていきましょう。人体のしくみと関連付け、繰り返し人間の体の機能を学ぶことで、知識として定着させていきましょう。この科目を履修するにあたり、事前学習や復習が大切になります。自ら学ぶ力をつけていきましょう。				
成績評価	評価方法		評価割合		
	筆記試験		10		

令和4年度 「専門基礎分野」

科目名	病気の成り立ち		対象年次・時期	1年次・後期	
単位・時間	1単位 20時間				
担当講師名	非常勤講師				
科目目標	疾病の発生機序及び疾病時に起きる生体反応に関する知識を修得できる。				
講義内容 講義担当者	次	主題	内容	担当者	学習方法
	1 5 10	1. 病理学とは 1) 疾病の原因 2) 生体の回復 2. 細胞の障害 1) 萎縮 2) 変性 3) 壊死とアポトーシス 3. 細胞の障害に対する修復・再生・適応 1) 創傷とその治癒 2) 再生と修復 3) 肥大と過形成 4. 基本的な病変 1) 循環障害 2) 炎症と免疫異常 3) 代謝障害 4) 老化 5) 先天異常と遺伝子異常 6) 感染症 7) 腫瘍 終講試験		非常勤講師	講義
テキスト・参考文献等	系統看護 病理学 病態生理学（医学書院）				
使用教材					
履修上のアドバイス	病理学上の用語やその意味は疾病論及び看護学の基礎となります。				
評価基準	評価方法		評価割合		
	筆記試験		10		

令和4年度 「専門基礎分野」

科目名	病気と治療Ⅰ（循環器・呼吸器）			対象年次・時期	1年次・後期	
単位・時間	1単位 30時間					
担当講師名	非常勤講師					
科目目標	生活調整が必要な循環器系疾患、循環呼吸器系疾患の病態・診断・治療について理解できる。					
講義内容 講義担当者	次	単元	主題	内 容	担当者	学習方法
	1 5 7	1	循環器系疾患	1. 虚血性心疾患 2. 心不全 3. 血圧異常 4. 不整脈 5. 弁膜症 6. 心筋疾患 7. 動脈系疾患	非常勤講師	講義
	8 14	2	呼吸器系疾患	1. 感染症 2. 間質性肺疾患 3. 気道疾患 4. 呼吸不全 5. 肺腫瘍 6. 胸膜・縦隔・横隔膜の疾患	非常勤講師	講義
	15	終講試験		単元1 循環器系疾患 (45分) 単元2 呼吸器系疾患 (45分)		
テキスト・参考文献等	系統看護 成人看護学3「循環器」成人看護学2「呼吸器」(医学書院)					
使用教材	パソコン・プロジェクター					
履修上のアドバイス						
評価基準	単元	評価方法		評価割合	配点	
	1	筆記試験		5	100	
	2	筆記試験		5	100	
*この科目は単元別評価を行います。単元ごとに100点満点の試験を行い各々60点以上で単位認定となります。点数は評価割合により算出されます。						

令和4年度 「専門基礎分野」

科目名	病気と治療II (血液・造血器・自己免疫系・内分泌系)		対象年次・時期	1年次・後期		
単位・時間	1単位 30時間					
担当講師名	非常勤講師					
科目目標	生活調整が必要な血液・造血器疾患、内分泌系疾患・自己免疫疾患の病態・診断・治療について看護の視点で理解できる。					
講義内容 講義担当者	次	単元	主題	内 容	担当者	学習方法
	1 5 4	1	血液・造血器疾患	1. 赤血球の系の異常(貧血) 2. 造血器腫瘍 3. 出血性疾患	非常勤講師	講義
	5 5 9	2	内分泌・代謝系疾患	1. 内分泌系疾患 1) 視床下部・下垂体疾患 2) 甲状腺・副甲状腺疾患 3) 副腎疾患 4) 性腺疾患 2. 代謝疾患 1) 糖尿病 2) 脂質異常症 3) 尿酸代謝異常	非常勤講師	講義
	10 5 14	3	自己免疫系疾患	1. アレルギー性疾患 2. 膠原病 1) 全身性エリテマトーデス 2) 関節リウマチ 3) HIV	非常勤講師	講義
	15	終講試験		単元1 血液・造血器疾患 (45分) 単元2 内分泌・代謝系疾患 (45分) 単元3 免疫・アレルギー系疾患 (45分)		
テキスト・参考文献等	系統看護 成人看護学4「血液・造血器」成人看護学6「内分泌・代謝」成人看護学11「アレルギー-膠原病 感染症」(医学書院)					
使用教材	パソコン・プロジェクター					
履修上のアドバイス						
評価基準	単元	評価方法		評価割合	配点	
	1	筆記試験		3	100	
	2	筆記試験		4	100	
	3	筆記試験		3	100	
*この科目は単元別評価を行います。単元ごとに100点満点の試験を行い各々60点以上で単位認定となります。点数は評価割合により算出されます。						

令和4年度 「専門基礎分野」

科目名	病気と治療Ⅲ (消化器・耳鼻咽喉・乳房・女性生殖器疾患)			対象年次・時期	1年次・後期	
単位・時間	1単位 30時間					
担当講師名	非常勤講師					
科目目標	生活調整が必要な消化器系疾患・耳鼻咽喉疾患・乳房の疾患・女性生殖器疾患の病態・診断・治療について理解できる。					
講義内容 講義担当者	次	単元	主題	内 容	担当者	学習方法
	1 ＼ 6	1	消化器系疾患	1. 食道の疾患 2. 胃・十二指腸の疾患 3. 腸及び腹膜疾患 4. 肝臓・胆嚢の疾患 5. 膵臓の疾患	非常勤講師	講義
	7 ＼ 9		耳鼻咽喉疾患	1. 耳疾患 2. 鼻疾患 3. 口腔・咽喉頭疾患	非常勤講師	講義
	10 ＼ 11	2	乳房の疾患	1. 乳がん 2. 乳腺疾患	非常勤講師	講義
	12 ＼ 14		女性生殖器疾患	1. 女性生殖器の腫瘍 2. 機能的疾患（月経異常・更年期障害・不妊症・不育症） 3. 感染症	非常勤講師	講義
	15	終講試験		単元1 消化器疾患 (45分) 単元2 耳鼻咽喉疾患・乳房の疾患・女性生殖器疾患 (45分)		
	テキスト・参考文献等	系統看護 成人看護学5「消化器」、成人看護学14「耳鼻咽喉」、成人看護学9「女性生殖器」(医学書院)				
使用教材	パソコン・プロジェクター					
履修上のアドバイス						
成績評価	単元	評価方法		評価割合	配点	
	1	筆記試験		5	100	
	2	筆記試験		5	100	
		*耳鼻咽喉疾患：30点 乳房の疾患：30点 女性生殖器疾患：40点				
*この科目は単元別評価を行います。単元ごとに100点満点の試験を行い各々60点以上で単位認定となります。 *単元2は各疾患が6割以上で単元認定となります。 *点数は評価割合により算出されます。						

令和4年度 「専門基礎分野」

科目名	病気と治療Ⅳ（運動器・脳神経）		対象年次・時期	1年次・後期	
単位・時間	1単位 30時間				
担当講師名	非常勤講師				
科目目標	生活調整が必要な運動器系疾患脳神経系疾患の病態・診断・治療について理解できる。				
講義内容 講義担当者		主題	内 容	担当者	学習方法
	1 5 7	運動器疾患	1. 外傷性の運動器疾患 1) 骨折 2) 脱臼 3) 捻挫 4) 神経 5) 靭帯損傷 2. 内因性の運動器疾患 1) 骨・関節の炎症性疾患 2) 骨腫瘍・軟部腫瘍 3) 脊柱の疾患	非常勤講師	講義
	8 14	脳神経系疾患	1. 脳疾患 脳出血 脳梗塞 クモ膜下出血 脳腫瘍 2. 脱髄変性疾患 パーキンソン 3. てんかん 4. 脱髄変性疾患 多発性硬化症 末梢神経障害 ギランバレー 5. 筋疾患・神経筋接合部疾患 筋ジストロフィー 6. 脳神経系の感染症	非常勤講師	講義 講義
	15	終講試験	単元1 運動器疾患（45分） 単元2 脳神経系疾患（45分）		
	テキスト・参考文献等	系統看護 成人看護学10「運動器」 成人看護学7「脳・神経」（医学書院）			
使用教材					
履修上のアドバイス					
評価基準	単元	評価方法	評価割合	配点	
	1	筆記試験	5	100	
	2	筆記試験	5	100	
*この科目は単元別評価を行います。単元ごとに100点満点の試験を行い各々60点以上で単位認定となります。点数は評価割合により算出されます。					

令和4年度 「専門基礎分野」

科目名	病気と治療Ⅴ（腎・泌尿器、皮膚）		対象年次・時期	1年次・後期	
単位・時間	1単位 15時間				
担当講師名	非常勤講師				
科目目標	生活調整が必要な腎・泌尿器系疾患、皮膚疾患の病態・診断・治療について理解できる。				
講義内容 講義担当者	次	主題	内 容	担当者	学習方法
	1 5	腎・泌尿器系疾患	1. 腎不全とAKI・CKD 2. ネフローゼ症候群 3. 糸球体腎炎 4. 糖尿病性腎症 5. 尿路・性器の感染症 6. 尿路の通過障害と機能障害 7. 尿路・性器の腫瘍	非常勤講師	講義
	6 7	皮膚疾患	1. 表在性皮膚疾患 2. 真皮・皮下脂肪織および皮膚付属器の疾患 3. 物理・化学的皮膚障害 4. 腫瘍 5. 感染症	非常勤講師	講義
	8	終講試験			
テキスト・参考文献等	系統看護 成人看護学8「腎・泌尿器」成人看護学12「皮膚」（医学書院）				
使用教材	パソコン・プロジェクター				
履修上のアドバイス					
評価基準	評価方法		評価割合		
	筆記試験		10		
	*腎泌尿器疾患：80点		皮膚疾患：20点		
	*各疾患が6割以上で単位認定となります。				

令和4年度 「専門基礎分野」

科目名	微生物学		対象年次・時期	1年次・後期	
単位・時間	1単位 15時間				
担当講師名	非常勤講師				
科目目標	微生物の特徴と生体に及ぼす影響を理解し、その対応について理解できる。				
講義内容 講義担当者	次	主題	内 容	担当者	学習方法
	1	微生物の性質	微生物学、細菌、真菌、原虫、ウイルス	非常勤 講師	講義
	2	感染と防御	感染症、生体防御		
	3	感染症対策 (1)	病原細菌と細菌感染症		
	4	感染症対策 (2)	病原真菌と真菌感染症、病原原虫と原虫感染症		
	5	主な病原微生物 (1)	病原細菌と細菌感染症		
	6	主な病原微生物 (2)	病原真菌と真菌感染症、病原原虫と原虫感染症		
	7	主な病原微生物 (3)	病原ウイルスとウイルス感染症		
	8	終講試験			
テキスト・ 参考文献等	系統看護学講座 微生物学 (医学書院)				
使用教材					
履修上の アドバイス					
成績評価	評価方法		評価割合		
	筆記試験		10		

令和4年度 「専門基礎分野」

科目名	看護と法律		対象年次・時期	1年次・後期	
単位・時間	1単位 15時間				
担当講師名	非常勤講師				
科目目標	看護師に必要とされる法律上の知識を理解する。				
講義内容 講義担当者	次	主題	内 容	担当者	学習方法
	1	1. 法の概念 2. 保健師助産師看護師法 3. 医療法 4. 保健衛生法 5. 薬務法 6. 労働法と社会基盤整備 7. 環境法		非常勤講師	講義
	8	終講試験			
テキスト・参考文献等	系統看護 看護関係法令（医学書院）				
使用教材	講師作成の資料				
履修上のアドバイス	初めて聞く言葉が多くあるが、言葉の意味定義に注意すること				
成績評価	評価方法		評価割合		
	筆記試験		10		

令和4年度 「専門基礎分野」

科目名	保健医療福祉論		対象年次・時期	1年次・前期	
単位・時間	1単位 15時間				
担当講師名	非常勤講師				
科目目標	日本や地域の保健医療福祉の現状と課題を理解し、医療者としての心がまえを身につけることができる。				
講義内容 講義担当者	次	主題	内 容	担当者	学習方法
	1	保健・医療・福祉の現状 気になる保健・医療問題について		非常勤 講師	講義 GW
	2	医療のあゆみと医療観の変遷 ・社会情勢の変化とともに医療を取り巻く状況について概観する。人口や疾病構造の変化、医療保険、介護保険、公費医療等さまざまな制度ができてきた背景を知る			講義
	3	日本の医療システム ・医療提供施設と従事者 ・医師・看護職、薬剤師、理学療法士・作業療法士、診療放射線技師・臨床検査技師、臨床工学技士、そのほかの医療従事者 ・医療職の不足とタスクシフティング			講義
	4	千葉県の看護の現況			講義
	5	医療提供体制/千葉県の医療提供体制 ・保健医療計画、地域医療構想 ・在宅医療、医療と介護の連携 ・自分の住んでいる地域の医療体制を調べてみよう			講義 個人W
	6	千葉県の保健医療福祉政策 ・健康づくり支援事業 ・母子保健事業/子育て支援事業 ・高齢者福祉事業 ・障害者福祉事業 ・疾病対策事業 ・医薬品関連事業			講義 GW
	7	現代社会における保健医療福祉の諸問題 課題学習			講義 個人W
	8	終講試験			
テキスト・参考文献等	系統看護 医療概論（医学書院）、総合医療論（医学書院）				
使用教材	パワーポイント、プロジェクター 各自、ポートフォリオ用のファイルを準備すること				
履修上のアドバイス	参加型の授業を行います。問題意識を持って各回のテーマに沿った事前学習を行ってください。配布資料や事前学習、各自集めた資料等は日付順にポートフォリオに整理をしてください。				
成績評価	評価方法		評価割合		
	筆記試験		80		
	課題提出		20		